令和6年第16回教育委員会 議事録

日 時：令和6年11月6日（水） 午前9時00分

場 所：香南市役所6階 604・605会議室

教育委員：三木守教育長、百田久範委員、中元啓恵委員、森本美穂委員、亀川孝志委員

事務局：門脇教育次長、小松学校教育課長、猪原こども課長、山崎生涯学習課長、
小松(泰)教育研究所長、杉村学校教育課主査、山崎学校教育課長補佐（記録）

議 題

議 事

日程第1	議事録署名委員の指名について
日程第2	議案第1号 香南市立認定こども園設置条例の一部を改正する条例について
日程第3	議案第2号 香南市家庭的保育事業等の設置及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
日程第4	議案第3号 香南市病児保育事業（体調不良児対応型）実施要綱の制定について
日程第5	議案第4号 就学援助認定について
日程第6	議案第5号 香南市野市総合体育館、香南市農林漁業者健康増進運動施設及び香南市野市ふれあい広場パークゴルフ場の指定管理者の指定について（追加）
日程第7	協議事項1 香南市放課後児童クラブ入会審査選考基準の見直しについて
日程第8	協議事項2 公営放課後児童クラブの延長保育（学校のある日）の実施について
日程第9	協議事項3 香南市入所児童の選考基準について
日程第10	協議事項4 その他の件について

開会 午前9時00分

○教育長

令和6年第16回の教育委員会を開催いたします。

日程第1「議事録署名委員の指名について」ですが、百田委員よろしく申し上げます。

それでは議案に沿って進めて参ります。

日程第2 議案第1号「香南市立認定こども園設置条例の一部を改正する条例について」説明をお願いします。

○教育次長

議案第1号、香南市立認定こども園設置条例の一部を改正する条例について、香南市立認定こども園設置条例の一部を改正する条例を提出する。

提案理由：野市東保育所と野市東幼稚園を統合し、認定こども園とするために必要な改正を行うものです。

補足をお願いします。

○こども課長

補足説明をする前に、訂正をお願いいたします。3ページにあります7の1行目、幼稚園条例

の後ろの括弧書きと、その次の保育所条例の後ろの括弧書きをそれぞれ削除をお願いします。

それでは補足説明をいたします。先月の教育委員会で報告をさせていただきました野市東保育所と野市東幼稚園の認定こども園化についてになります。

第 2 条の名称及び位置に「香南市立野市東こども園」、所在地は「香南市野市町東野 449 番地 6」を加えるものです。

保育所の住所が東野で、幼稚園が中ノ村で大字が異なっております。大字が異なる場合には地番を合筆できませんので、面積の広い方の住所、保育所の方の住所にしております。

附則としまして、施行日は令和 7 年 4 月 1 日で、同日付で香南市立幼稚園条例の香南市立野市東幼稚園の項を削除し、香南市立保育所条例の第 2 条の香南市立野市東保育所の項を削除いたします。

特例としまして第 4 の項に「野市東こども園への入園に必要な手続等について」ということで、条例の施行日前においても、行うことができることを明記しています。

5 では、条例施行日前における野市東幼稚園と野市東保育所への入園に関する手続き等について、野市東こども園への入園に必要な手続その他の行為とみなすということ。

6 においては、現在、野市東幼稚園と野市東保育所に在籍をしている園児のうち、引き続き在園を希望する園児については、施行日に野市東こども園に入園したとみなすこと。

7 の項では、改定前の幼稚園条例と保育所条例の規定により行われた手続等は、認定こども園設置条例の規定により行われたこととみなす、ということをそれぞれ定めております。

この条例の改正につきましては、12 月の定例議会に議案を提出する予定になっております。

説明は以上です。

○教育長

議案第 1 号について質問、或いはご意見等ございませんか。

○百田委員

直接、条例に関することではありませんが、4 月から子どもたちの部屋割りはどうなりますか。

○こども課長

保育所のほうが 1 から 3 歳までなので、部屋割りは変わってきます。今 1 歳で使っている部屋はそのまま 1 歳が使い、2 歳児が使っている部屋は 1 歳児の部屋になって、次に 3 歳児が使っている部屋は 2 歳児の部屋になって、というふうに順番に東へ行くので、東の端の 4 歳と 5 歳が使っていた部屋が 3 歳の部屋になります。

幼稚園のほうは全部で 4 部屋あるので、下に 2 つ、上に 2 つあるので、おそらく 4 歳が下の 2 部屋で、5 歳が上の 2 部屋を使うということになっていくと思います。

○教育長

ほか何かございませんか。

○中元委員

今申し込みが始まっているかと思いますが、吉川みどり保育所と赤岡保育所の子どもたちも希望がある方は野市東へというお話がありますが、申し込みをして 4 月 1 日から認定こども園なるということは、皆さん認定こども園へ通う形になるという認識でいいですか。

○こども課長

そうです。

○中元委員

そうなると、今までよりは広域の地域から来られるようになり、設置はこの形でいいかなと思いますが、そのあとの運営のことなどに関しては、認定こども園の評議員さんとかのメンバーの中にもそういった地域の方が組み込まれる予定になりますか。

○こども課長

まだ、そこは園ときちんと話ができなくて、そこを入れるのかどうか、吉川にも赤岡にもそれぞれ園があるので、それをどうするのかというのはこれからの協議になります。

○中元委員

今回、認定こども園の設置のことをお話されていますが、これから先は規模適正化のこととかも順番に段階を追って考えていくことになるので、香南市内のいろんな教育施設の再編とかを考えたときには、学校がある場所の地域の人たちがコミュニティスクールであったり評議員のメンバーになるのか、または、もっと広域のところから通ってきている子どもたちの家庭

のあるところも地域と考えるのか、その辺のことも、先のことを考えたときには、ここがもしかしたら取っかかりになる部分かもわからないので、ちょっと広い視野で検討していただけたらなと思います。

お願いします。

○こども課長

わかりました。ありがとうございました。

○教育長

全くそのとおりだと思いますね。

ほかにご意見、ご質問等ございませんか、よろしいですか。

そしたら議案第1号について提案について、承認いただけたといことでよろしいですか。

(全員異議なし)

○教育長

ありがとうございます。議案第1号について承認いただきました。

では次、日程第3 議案第2号「香南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について」説明をお願いします。

○教育次長

議案第2号、香南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について、香南市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を提出する。

提案理由：児童福祉施設の設置及び運営に関する基準及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する内閣府令が発出されたことに伴い、保育士・保育従事者の配置基準を見直すものです。

補足をお願いします。

○こども課長

この条例につきましては児童福祉施設の設置及び運営に関する基準及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する内閣府令により、満3歳以上4歳未満の児童と、満4歳以上の児童に係る保育士と保育従事者の配置基準の見直しが行われましたので、改正を行うものです。

また地域によっては、改正後の基準に見合うだけの職員を確保することができず、新たな職員配置基準に従った教育・保育の提供体制の整備が困難になる可能性があることから、当分の間は従前の基準により、保育士・保育従事者の配置を行えることとする経過処置が設けられているものです。

新旧対照表により補足説明を行います。2ページ目と3ページ目になります。第30条が、小規模保育事業A型の職員について記載をしているところになります。第32条は小規模保育事業のB型の職員についての記載になります。第45条は、保育所型事業所内保育事業所の職員について、第48条は、小規模型事業所内保育事業所の職員について定めておまして、それぞれ、満3歳以上満4歳未満の児童については、おおむね20人につき1人から、おおむね15人につき1人に改正。満4歳以上の児童については、おおむね30人につき1人から、おおむね25人につき1人に改正を行うものです。

附則としまして、施行期日は公布の日からになります。

冒頭で説明をしましたがけれども附則として「また地域によっては改正後の基準に見合うだけの職員を確保できず、新たな職員配置基準に従った教育・保育の提供体制の整備が困難となる可能性があることから、当分の間は従前の基準により、保育士・保育従事者の配置を行えることとする」という経過措置が設けられておりますので、その部分について元の資料の方の5ページになりますけれども、附則の第2項で定めるとともに、改正後の配置基準を満たすことについての努力義務については第3号の方で定めております。

この条例改正につきましては、先ほどの議案第1号と同じように12月の議会に提出をする予定にしております。

説明は以上です。

○教育長

議案第 2 号について、何かご質問やご意見ございませんか。
先ほどの提案説明についてご異議等ありませんか。よろしいですか。

(全員異議なし)

○教育長

議案第 2 号について承認をいただきました

では続いて、日程第 4 議案第 3 号「香南市病児保育事業（体調不良児対応）実施要綱の制定について」説明をお願いします。

○教育次長

議案第 3 号、香南市病児保育事業（体調不良児対応型）実施要綱の制定について、香南市病児保育事業（体調不良児対応型）実施要綱を提出する。

提案理由：赤岡保育所、香我美おれんじ保育所、佐古保育所、野市保育所、野市東保育所、夜須こども園において実施している、保育中の体調不良児に対し、看護師を配置し保健的な対応を行う病児保育事業（体調不良児対応型）について、必要な事項を定めるものです。

補足をお願いします。

○こども課長

補足説明をいたします。7 ページをお願いいたします。

0 歳児のいる保育所を中心に、体調不良児対応ができるよう看護師を配置しておりまして、これまでそのことについて定めた要綱がありませんでしたので、必要な事項を定めるものです。

まず第 1 条は（目的）です。第 2 条は（実施施設）について、第 3 条は（対象児童）について、第 4 条が（職員の配置と対応内容）について、第 5 条が（実施場所）について、第 6 条が（事業の実施）について、次のページで、第 7 条は（実施期間と実施時間）について、第 8 条は（利用料金）について第 9 条が（その他）として事業の実施に関して必要な事項については、別に定めることをそれぞれ定めておりまして、施行日は公表日からになります。

説明は以上です。

○教育長

先ほどの説明について、ご意見ご質問等ございませんか。

○百田委員

微熱については、確か基準があったはずですけど。大体、体調不良になると熱が多いと思いますが、何度ですか。

○こども課長

その子の平熱にもよりますが、大体 37 度 5 分ぐらいと、その子どもさんの様子を看護師がみて、ご家族の方に連絡が必要な場合には連絡をさせていただいています。熱中症も同じですが、その子の体調によって、おうちへ連絡させていただいています。

おうちの方が迎えに来てくれるまでの間、看護師が別室において様子をみるということになっています。

○百田委員

人数的には 1 日にどれくらい的人数ですか。1 日に 1 人ほど多くはないですよ。

○こども課長

そんなに多くはないです。

あとは、けがをしたとか目にごみが入ったとか、そういったことについて看護師が対応したり確認をしたりとかいうことはあります。

○教育長

ほかにご意見ご質問ございませんか。先ほどの説明、提案について異議等ございませんか。

(全員異議なし)

○教育長

議案第 3 号について、承認いただきました。

次、日程第5 議案第4号「就学援助認定について」ですが、本日、傍聴が1名おいでいただいております。これにつきましては、内容が個人的な内容に関わる内容になりますので、非公開として進めさせていただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

(全員異議なし)

議案第4号 就学援助認定について審議・採決（非公開）

○教育長

秘密会を解きます。

次、日程第6 議案第5号「香南市野市総合体育館、香南市農林漁業者健康増進運動施設及び香南市野市ふれあい広場パークゴルフ場の指定管理者の指定について」これ追加になっている部分ですね、説明をお願いします。

○教育次長

本日配布をしました追加議案をご覧ください。

議案第5号、香南市野市総合体育館、香南市農林漁業者健康増進運動施設及び香南市野市ふれあい広場パークゴルフ場の指定管理者の指定について、地方自治法第244条の2第6項の規定に基づき、次のとおり指定管理者を指定することについて教育委員会の承認を求める。

1. 施設の名称：香南市野市総合体育館、香南市農林漁業者健康増進運動施設、香南市野市ふれあい広場パークゴルフ場。
2. 指定管理者となる団体の主たる事務所の所在及び名称：香南市香我美町徳王子2220番地1、NPO法人こうなんスポーツクラブ、
3. 指定の期間：令和7年4月1日から令和10年3月31日まで。

提案理由：令和7年3月31日で契約満了となる香南市野市総合体育館、香南市農林漁業者健康増進運動施設及び香南市野市ふれあい広場パークゴルフ場の指定管理について、NPO法人こうなんスポーツクラブを指定管理者として指定するものです。12月議会に議案提案し、議決後に最終の決定となります。

補足をお願いします。

○生涯学習課長

提案理由のとおり、令和6年度をもちまして、今指定管理で管理していただいている施設、香南市野市総合体育館と香南市農林漁業者健康増進運動施設、これは香我美町のトレーニングセンター、香我美町の運動広場、香我美町おれんじテニスコート、この3つの施設及び野市ふれあい広場パークゴルフ場ですが、その指定管理が終わるということで、9月27日から10月28日までですね、募集期間を定めまして、一般公募をさせていただきました。

その結果としまして、手を挙げていただいた1団体が「香南市香我美町徳王子2220番地の1、NPO法人こうなんスポーツクラブ」となります。10月30日付けで指定管理の選定委員会が行われまして、その審議の結果、選定されるに至る団体ということが決定されましたので、今回ご報告させていただき、提案理由にありますように12月議会に提出したいというふうに考えております。

説明は以上です。

○教育長

この件につきまして、ご意見ご質問等ございませんか。

○生涯学習課長

当議会でも聞かれると思うのでお話しておきますが、香南市の場合、こういう指定管理の施設については、極力非公募じゃなくて公募をしましょうという形で、昨年度から進めております。

その中で生涯学習課施設は、地域に密着している施設もございまして、どうしても地域の事業を進めるものについては指定管理を非公募にすることもあります。この施設についても香我美町の時代から作り上げられた指定管理の団体ということもありましたけれども、当団体さんと話をさせていただいて、広く皆さんに声掛けをしても構わないという話がありましたので、今回募集をかけさせていただきました。結果として1社になりましたけれども、ほかに電話連

絡は 1 社ございました。ただ、今回、申請を提出していただくような状態ではありませんでした。

それは [] で、 [] で、実績としては、 [] この 2 つの施設を受けています。そこからの声があったと報告をさせていただきます。

報告は以上です。

○教育長

問い合わせがあっただけですか。

○生涯学習課長

電話連絡があって、詳細を聞きに来ました。ただ、金額はちょっと合わなかったのかもしれませんが、募集にはならなかった。

○教育長

ご異議等ございませんか。よろしいですか。

(全員異議なし)

○教育長

議案第 5 号について承認いただきました。ありがとうございます。

では、あと、協議事項になります。

日程第 7 協議事項 1「香南市放課後児童クラブ入会審査選考基準の見直しについて」説明をお願いします。

○こども課長

資料は「香南市放課後児童クラブ 入会審査選考基準表(案)」と書いたホッチキス止めの資料になります。

令和 7 年度、放課後児童クラブの入会選考に当たりまして、令和 7 年度の放課後児童クラブ入会選考基準について、昨年度からの変更点を中心に説明をいたします。

特に大きな変更点としましては、1 年生と 2 年生をひとくりにしたことと 3 年生以上で最低の就労時間を分けたこととなります。

これまで入会基準を全学年で「15 時以降の勤務がある方」にしておりましたけれど、令和 7 年度より 1・2 年生については 1 時間短くて 14 時以降も勤務のある方にしたいと考えています。

この入会基準にした理由としましては、保護者ニーズの特に高い 1・2 年生の受け入れ間口を広げて、長期休み、特に夏休みに受け入れをしやすくしたいということになります。

これまで 1・2 年生であっても 15 時までに勤務が終了する家庭については、入会待機ということになっているケースがありまして、空きが出た場合についても、優先順位が低いために、年度途中の入会がなかなか難しく、保護者より「長期休みはどうしたらいいのか」といった相談をされることがあります。

そこで 1 年生の入会基準の最低の労働時間を 14 時以降にしたことによりまして、基本指数の区分や点数を変更しております。

基本指数の①就労につきましては、最低労働時間が 1 時間短くなったことから、最高点を 30 点にしまして、これまでの考え方と同じように 15 分刻みで、マイナス 1 点ずつ少なくしています。週 1 日刻みでマイナス 2 点としまして、点数を作成しています。

また 1・2 年生のみ適応にする午後 14 時 46 分から 15 時、1 時間のところですが、それ以下の部分について追加をしております。

資料をめくっていただきまして、③出産というところが出てきますけれど「出産」その下の「病気」「災害」「調整指数Ⅰ」の一人保護者児童の学年については最高点が 10 点となっているため、統一してすべてプラス 10 点としています。

また 3 ページになりますけれど、調整指数のⅡの「特に保育の必要性がある場合」においてはプラス 30 点の 80 点としています。

最後に「その他の運用」に 1~2 年生の追加をしまして、1・2 年生と 3 年生に分けております。ちょっと表が見つらくて申し訳ないのですが、赤字になっているのが今回変更しようとするもので、青字になっているところがこれまでの点数ということになります。

資料 1 ページ目の一番上の「基本指数」のところに、赤字で下線を引いて書いてありますよ

うに、「14 時 46 分」以降については 1・2 年生に適応しまして 3 年生以上には適用せず、できるだけ 1・2 年生が入りやすい状況を作っていきたいと考えています。

説明は以上です。

○教育長

これは結局、下がった数字がないので、トータル的に誰が得するようになったかという話がわかりにくいのですが、要は「大きく数字が上がった人が有利になった」、そういう見方をしないといけないということですね。

○こども課長

そうです。14 時 46 分から 15 時までの間、1・2 年生だけを適用する加点項目を作ることによって、その学年の点数が大きくなるので、できるだけ入りやすく点数化をするというところが新たに加わったこととなります。

○教育長

はい。議案ではありませんので審議はありませんが、今の説明いかがでしょう。

よろしいですか。

○学校教育課長

1・2 年生の上げ幅が大きいということですね。

○こども課長

そうです。資料の 3 ページの「調整指数のⅡ」のところで、その学年によっても点数化はしていますけれど、実際におうちの方のお仕事が 15 時で終わるご家庭の方については、なかなか入ることが難しい。平日はなんとかあったとしても夏休みが特に困っていて、夏休みの今の募集の仕方は、平日入っている方が「夏休み利用しません」という休会をされたその空き枠でしか募集がかけられないので、大体が 1 から 3 ぐらいまでの枠しか空かないので、そこについては夏休みであっても 1・2 年生が入ることがなかなか厳しいという現状が今年度も実際あっています。

そんなことも含めて、利用したいという 1・2 年生がしっかり入れる仕組みを作るしかないということで、表を見直したということになります。

○学校教育課長

その他で 80 が来たら、結局これはどうなりますか。

○こども課長

これは書いてはいますが、今までも取り扱いをしたことがないです。

○教育長

想定はありますか。

○こども課長

考えられることは、 の がいます。 は、実は 、今年度から児童クラブの利用をしたい予定でした。けれど、なかなか対応が難しいということと、平日は何とかなるけれど、夏休み、長期のお休みをみてもらいたいという保護者の思いがあります。

それだけでは、なかなか対応ができないということがあって、来年度に向けて、お家の方が希望されているということもありますので、考えられるとしたら、そういったケースになると思います。

○教育長

よろしいですか。

では、次、日程第 8 協議事項 2「公営放課後児童クラブの延長保育（学校のある日）の実施について」説明をお願いします。

○こども課長

資料は A4 の横、カラー刷りの「公営放課後児童クラブの延長保育（学校のある日）の実施について（案）」という資料をお願いします。

来年度から、開設時間を 30 分延長し、午後 6 時 30 分までに変更したいと考えております。毎年行っています保護者アンケートにおきましても、保育所であれば午後 6 時 45 分まで、幼稚園であれば午後 6 時半まで預かってもらえるのに、小学生になった途端に午後 6 時までになるということで、開設時間の延長を希望するご意見というのはずっとありました。

それと、運営を委託しております香我美小学校のコスモス学童クラブと夜須小学校の夜須は一と児童くらぶでは延長保育を実施しておりますので、公設公営、公設民営にかかわらず、香南市内の公設施設での統一を図りたいと考えております。「利用要件」につきましては、同居の家族が残業を含めて 18 時を超えて就労していること。「実施方法」の方を見ていただけたらと思いますが、実施をいたしますのは、学校の代休日と長期休暇を除く学校のある日で、利用の 1 週間前までに利用届の提出をしていただくことを予定しております。

保護者の負担についてですけれども、月額 500 円を予定しております、その他のところに書いてありますように、急遽延長保育の利用が必要になった場合は、1 回 100 円をいただくことを考えております。

この 100 円というのは、香我美町のコスモス学童クラブと夜須は一と児童くらぶが 1 回 100 円という金額で延長保育を行っておりますので、その料金と同じ金額にしております。

現在、午後 6 時までの開設ですけれども、お迎えが多少遅れる場合もあります。そういった保護者の方については、この 6 時半までは「これまで料金はいただいているけれど、100 円徴収をします」ということになりますので、事前に周知をしっかりとしていきたいと思っています。

保護者の方については、夏休みであるとか、学校の行事で代休になっている日、1 日開設になっている時でも午後 6 時半までという希望もありますけれど、1 日になると職員の勤務体制のことが出てきます。特に夏休みはそれによって振替をする先生もいたりとか、そういった条件も出てきますので、令和 7 年度については、学校のある平日の日のみで 30 分の延長を行ってきたいと考えています。

延長料金の徴収の仕方につきましては、月額 4,500 円を口座から引落としをさせていただいておりますので、それに加算をする形で引落としをする予定をしております。

説明は以上です。

○教育長

この件についてご質問ご意見ございませんか。

以前、お金で延長できるようになった途端どんどん延長し出して、タガが外れたようにそれが当たり前になって、ものすごい数になったという話をどこかで聞きました。

○こども課長

それと、保育所と幼稚園が午後 6 時 45 分までと午後 6 時半までですので、児童クラブがあるから頑張って早めに仕事を終えて迎えに来ていた方が、午後 6 時半までになるとお迎えが遅くなって、保育所の延長をもう少しのばして午後 7 時までにしてくれ、というような延長希望が出て来る可能性が高くなるのではないかということを危惧しているところではあります。

○教育長

そうですね。

○生涯学習課長

保護者がきちんとご理解をしてくれたらいいんですけど、小学生なんか 6 時半に外を歩いている状況というのは、あまりよくないですね。

ふれあいセンターで今 5 時までには子どもたちを受け入れという形はしているのですが、それがどんどん遅くなっていったら、それ以降という話は難しくなる。

○こども課長

児童クラブは迎えに来てもらうということが基本になっていきますけれども、どうしても都合があるときには「今日は自分でのお帰りです」と言われる子どもが出たりしますので、安全面については周知していく必要はあるかとは思っています。

○百田委員

30 分延長して、支援員さんは大丈夫ですか。

○こども課長

そこも支援員と協議をしております、何とかそこはできるだろう。けれど平日は頑張れるけれど、1 日保育が必要な時については厳しいというところから、来年度は平日のみで実施をしようと思っています。

○百田委員

延長保育で 1 分遅れた、遅れないとか、たまにトラブルになることがあるようで、のいち幼稚園学園はカードでパンパンやっているが、その辺は支援員が多少の融通をきかせているのかと

思います。

○こども課長

児童クラブも「すぐーる」と同じように「おぼこいず」というのをに入れていまして、児童クラブへ来たら、子どものカードで来た時間を読み取る。保護者さんにも子どもさんがクラブに行っているのかいないのかがアプリで分かるようになっています。帰るときも同じようにカードをかざして処理をするので、定刻を過ぎているのか過ぎていないのかというのは、確実にわかるようになるので、今までだったら延長がなかったのが、多少お迎えが遅れても「お母さん、お父さん、気をつけて来てね」と言ってお渡しをできたのですが、そこはきちんと線引きをさせてもらうということになります。

○百田委員

是非、保育・幼稚もそうできたらいいと思います。先生けっこう大変みたいですね。

○森本委員

利用要件のところに「残業を含んで 18 時を超えて就労していること」というところが、あるのですが、これがシフト制などは「こういうシフトがあるので何日が無理です」とか、すごくわかりやすいと思いますし、こういう方はたくさんおられると思いますが、基準が曖昧な感じがします。一番下のところに「常態化してきたら判断、月額への登録を依頼する」になっていますけれど、その基準をふわっとさしておくと、6時半から6時ぐらいまで残業する方が100円で行けるんだっただけとか、或いは500円でも、じゃあもう登録しておこうとか、そういう方がたくさんいそうな気がしました。

○こども課長

一応、児童クラブの申し込みの時に「就労証明書」というのを付けていただいています。それには、就労の時間と時間外がある場合にはどのぐらいあるのかを書いていただくようになっています。それを参考にして、ということにはなります。

あと、月500円にした計算式が出ていますけれども、大体月20日利用した金額で出しています。個人的に1回1回出しているけど、それを超す日数を利用すると、月額の方が安いという話にもなりますのでこういったところでも見ていただけたらと思います。

利用する方の中には、仕事の都合で今月はすごく残業が多く、翌月は普段通りのお迎えに行きますということもあると思うので、それは利用する1週間前に利用申請書を出していただくようになっていますので、そういった中で確認もしながら、進めていくということになると思います。

○森本委員

となると、もしご利用者がすごく増えて、30分延長みたいな方がたくさんでた場合にも先生方は、特にその時間に対して減るとか増えるとかいうわけではなく、普段からおられる先生たちが対応できるという形ですか。

○こども課長

そうです。

○教育長

下の端の「その他」の書き方だと、単純に5回を超えたら500円超えるので、5回超えた段階で次月も同じような状態だったら、定額のほうにしませんか、と声をかけるってということですよ。

○こども課長

はい。

○教育長

ほかにご意見ご質問等ございませんか。

では進めていきます。

日程第9 協議事項3「香南市入所児童の選考基準について」をお願いします。

○こども課長

資料は「香南市入所児童の選考基準」と書いてあるA4の間に1枚裏表に印刷をされているものになります。

裏側の「児童の状況B」というところの10のグレーで塗ってある箇所になります。現在、令和7年4月の新園児の入園・転園の申し込みを受け付けているところですが、赤岡保育

所と吉川みどり保育所から野市東保育所と野市東幼稚園以外に転園を希望をする場合について、2点の加点を付けたいと考えております。

「その他」のところにつきましては、変更はございません。

説明は以上です。

○教育長

今年のことについてこれまで説明してきたことですよ。

この加点することは、もう保護者への説明のときからずっと言ってきたことなので、当然のこととして、あとは加点が「プラス 2」という点数が妥当かどうかと思うのですけれども、2点であることについては、何か理由がありますか。

○こども課長

ほかの点数は、1点のところとか2点のところなどいろいろあるのですが、それを点数化してみたときに、1点ではあまり変わらない、それ以上3点とか4点するということになるのであれば、2点か3点か4点かというところで、2点か3点か4点かというところで検討した結果になります。

○森本委員

津波浸水想定区域のマップできちんと「ここの保育所が入っていますよ」となっていますよね、「津波対策」そういう書き方に変えた方がよいと思います。ちょっと違和感があります。

○こども課長

表現方法については検討します。これは、市のホームページにずっと載っていることになるので、載せる前に表現を変更するようにいたします。

○教育長

ほかにご意見ございませんか。よろしいですか。

そうしましたら、日程第 9 の協議事項の 3 ままでが終了しましたけれども、その後「その他の件」ということになっていきますけど、一旦、休憩を挟みたいと思います。

あの時計で 10 分からということで、お願いします。

(休憩)

○教育長

それでは再開いたします。

日程第 10、協議事項 4「その他の件について」ですが、まず、その他の件で「国民文化祭」についてお願いします。

○生涯学習課長

2月の全員協議会の方で報告をさせていただきたいと思っておりますので、事前にこの会にご提案をさせていただきました。

1枚目の資料になります。昨年、高知県が「国民文化祭」というものを令和 8 年「第 41 回よさこい高知文化祭」という形で、国から承認いただきまして、2026 年に国民文化祭を高知県で開催するということが決まっておりますが、まだ市町村でどのようなものを開催するか詳細につきましては、今、県から情報をいただけていない状況です。

というのは、高知県が開催することは認められていますが、その詳細についての承認が来年の 1 月というふうに県から聞いておまして、今回の議会でご報告する内容もどこまでお話ししていくということもありますが、概要について説明させていただきます。

「国民文化祭」は、高知県では 1 度も開催したことがありませんが、四国では愛媛県が 2 回ぐらい開催しております。

「国民文化祭は、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策と有意義に連携しつつ」ということで、地域文化を今後も継承していこうということで「なくしてはならない」という観点と、もう 1 つ、2 段目に平成 29 年度の奈良大会から「全国障害者芸術・文化祭」と一体化した開催という形で、障害者も共に文化を継承するだけでなく「文化を味わっていく」という形で同時開催をするということで、大きな事業となっております。

今までもお話したことがあります、スポーツ大会「国体」と同じように、「文化の祭典」という形で開催します。3 段目にあります、天皇陛下・皇后陛下がご臨席される「四大行幸啓」という大きな事業になります。

②の「高知県大会について」ですが、お話したように、令和 6 年は右の資料の下の方にあります「岐阜大会」が「清流の国岐阜」という名前で、10 月 14 日から 11 月 24 日の間、開催されております。11 月 3 日の「文化の日」にオープンセレモニーがNHKでも放送されておりました。こういう事業を高知県でも開催するということです。7 年度は長崎大会、8 年度が高知県。

決定している内容だけご報告させていただきます。今まで、高知県のホームページには「開催予定日」みたいな形しか載っておりません。内部的に天皇陛下らのご臨席する日程というのが 10 月の 25 日しかできないということなので、令和 8 年 10 月から 11 月って書かれておりますけれども、実際は 10 月 25 日から 11 月末を予定しているというふうに、今のところ県のホームページにもそこまでしか記載がございません。

ただ、早めにあらゆる事業を進めていきたいと思っているので、今回、議会では「こういう形で進めます」という説明をさせていただきたいと思っています。

1 枚目の真ん中のところに「⑤国民文化祭高知大会の推進体制・大会スケジュール（案）」がありますけれども、その中で、橙色で「市町村実行委員会」というところがありますが、実行委員会を立ち上げるのも任意ですが、他の県を確認しますと全部の市町村が実行委員会を設置しておりましたが、高知県の本部に問い合わせると「これは絶対じゃない」という話が返ってきました。けれども、香南市としてはそれなりに大きな事業として取り組みたいと思っているので、香南市の実行委員会を立ち上げたいと思っており、できるだけ早いうちに市民の方にも知っていただきたいということで、今回上げさせてもらおうということになります。

2 ページ目をお願いします。この内容についてご報告させていただきます。

国民文化祭というのは 2 つの事業があります。1 つ目が、真ん中にあります「市町村事業について」、1 番目が「全国文化団体との連携事業」2 つ目が「香南市の独自事業を実施」、この 2 つの事業を開催することになります。

今ご報告させてもらったように「香南市実行委員会の組織」というものを令和 6 年度中、今回の議会で報告させていただいて、1 月ぐらいには設立をしたいと思っております。その内容を含めて、事業展開を進めていくというふうになります。

1 番「全国文化団体との連携事業」のご報告になりますけれども、真ん中のところに「全国の文化団体（約 50）が実施」ということで、国に登録されている文化団体が約 50 あります。

そのうち、これは報告するかは迷っていますが、香南市では「全日本漢詩連盟」とマッチングを完了し「全国漢詩の祭典」をのいちふれあいセンターにおいて開催予定と書かさせていただきました。8 月にマッチングということで、50 団体のうち今回 25 団体が高知県で開催したいということで手を挙げてもらっていました。香南市でやりたいというところは 1 団体あり、和楽器の団体が手を挙げてくれました。

その時に、事前に「香南市にはふれあいセンターがあります」と、ホールの大きさとか、ステージの大きさとかを報告し、向こう側が市町村の状況を確認するのですが、和楽器の団体が手を挙げてくれていたのですが、最低 600 人、700 人ぐらいのキャパが必要ということがわかったので、ふれあいセンターではなかなか入りきれないということで、申し訳ないですけどお断りをさせていただきました。

どの団体も高知市以外に大きなホールになるところはなかったのですが、25 のうち 20 ぐらいが高知市で開催というふうになっていました。ただ、香南市に詩吟の団体がたくさんございまして、詩吟の大元は漢詩ということで、香南市の文化協会の会長さんが高知県の漢詩連盟の理事もされておられて、漢詩を香南市で受けてくれないかという話が来ましたので、私たちとしても、何か事業を高知市から取ってあげないと、高知ばかりという話もどうかというふうになりましたので、ぜひ漢詩のほうを受けさせていただきたいということで、高知県の漢詩連盟とお話をさせていただいて、一応、内々的なマッチングが完了しているということになります。まだ国からの承認はいただいておりません。承認ができてから新聞報道はされると思いますので、ここはちょっと議会でまだ内々ということで、文面には書かずに、言葉ではお話ししようかというふうに思っております。

こういう形でふれあいセンターで開催する関連事業ということで、国体のときは物を建てる

などハード事業に補助金がありましたが、文化の祭典というのは、その事業に対して補助が出るという話になりまして、それに向けた事業展開、新しい事業「国民文化祭」に向けて新しく団体を立ち上げて文化の祭展をするためじゃなくて、これから広めていくっていうものがあれば、その団体にかかる経費の2分の1が出るというものがあります。ほかに、その大会に向けてこういう事業をするので、その事業経費の2分の1をくださいということもあります。

その内容についてが「事業費」で書きました「国民文化祭開催の直近の実績及び県補助2分の1で想定」、県はそのうちの2分の1は出しましょうということで動いております。

それとお話しさせてもらったマッチングで「高知県で25の事業のうちの1つは香南市で開催する」とはまた別で香南市独自の事業も開催したい。

表面でありました石川県では市町村独自の事業が151事業、これも全体事業の内容として151事業、沖縄県では164事業、和歌山県では126事業があった。これを高知県の32市町村で割りますと、香南市ぐらいになると5から7ぐらいの事業をしないと150ぐらいの数字にはならないです。

なので、事前に県の部長が来られて、香南市さんはたくさんの事業をやらしてもらえないかという話もありまして、昨年から話を内々では進めさせていただき、ここに書かせていただいた「香南市の総合文化祭」、旧の町村ごとにやられている文化祭を合併して10年経ったときに総合文化祭を1回開催しました。この年が2015年になり、本来ならば令和7年度に総合文化祭を考えていましたが、それを1年こかして、合併後21年のときに、この文化祭に合わせた「香南市総合文化祭」を開催する。

また、「市の美術展覧会」も行っていますが、香南市にはたくさんの所蔵されているものが、図書館の地下に埋もれております。それらを含めた各施設に絵画とかいろんなものが置かれているものを一斉に「収蔵作品展」という名前で開催したいと考えているのが2点目。

あとは、「伝承文化」ということで「踊り」ですよね。手結の盆踊りも含めた香南市で行われている伝承文化の踊りの祭典を、ふれあいセンターで開催しようと考えていましたが、弁天座で開催してもらいたいということが、絵金蔵の伝承歌舞伎の方からのご連絡がありまして、弁天座の方で開催するという形で、この事業は進めさせてもらうということで、商工とタイアップをして事業は膨らましていこうという話になっております。

あと、「図書館祭」というものを10月に開催していたので、本にまつわる事業を文化に混ぜたような形で、これも1つ考えているということと、「いきいきセミナー」に国民文化祭のテーマに沿うような内容を1つ入れてみたらどうかということで、今5つないしもう1つ絵金の関係を入れて6つの事業は実施してみたいということで、県には一次の段階で報告はさせていただきました。

この総事業費は450万ぐらいの経費で、本来ならばこの450万は市町村が出すものとなっておりますけども、今のところ県が一部補助しましょうかという話もありまして、本当にまだ決まってないことが多いので、「補助をいただきますと…」という形になります。

ただし、総事業費450万は本来香南市で開催している内容ですから、これに向けてという事業費をどんどん膨らますと話ではなくて、日常開催される内容に冠をつけて若干色は付けます。ただ、ブラッシュアップっていう形で事業展開は少し綺麗に作り変えていこうとは思っております。合併して20年たった来年に向けて21年目ですけども、私たちは20年目からいろんなことを変えていこうと思っていたので、それに合わせた形の事業展開を進めていきたいというふうに思っております。

長々と話をさせてもらいましたが、県のホームページにも書かれていないものも多いので、今回の議会で報告するのも文面的には少なめに書いて、話はちょっとさせてもらいたいと思っております。

1月以降に、ある程度国からのマッチング全部の報告があつて、新聞にも報道がなされると思うので、その後には詳細を皆さんにも報告したいと思っております。

以上です。

○教育長

ご質問等ございませんか。

○百田委員

質問とかじゃないですけど、もう2年切って、準備の段階で大丈夫かなと思いますが。

○生涯学習課長

そのとおりです。沖縄県の開催は6年前から開催していますが、高知県は3年間しかないんですよ。報告を受けて3年の間に全部仕上げるとなっているので、県もいきなりこれに向けた準備室を作って職員を充てていますが、来年、令和7年度に1つ事業をしないといけません。それも一応名前が決まったという状況で、来年に向けて何ができるかという話ですが、自分たちは内々的にできることを先に仕上げていこうという体制です。

今回もオープニングセレモニーを見させてもらいましたが、本当に有名な方々が集まります。高知県にゆかりのある方が集まってきてセレモニーをやって、オープニングは「よさこい」を踊ることは分かっているのですが、演者の人たちを今集めている状態なので、僕らが心配してもしようがないですけど、県の事業としてなかなか進みが遅いなどは感じております。

ただ、全市町村としてのマッチングの打ち合わせというか「これで行きましょう」というのが内々決定したのが先月ぐらいですから、市町村は市町村で、できることを先に仕上げていくということではしていきます。

○百田委員

以前、このお話聞いたとき、プレはないとか言ってましたよね。

○生涯学習課長

はい。ただそれが、令和7年の下半期「国民文化祭高知大会プレイベント」という形です。令和7年度が終わったときに高知県の知事が、まず旗をもらいに行き、その時に「プレ国体の報告」を受けるようです。ですから、やらないってことはないみたいで、何か1つの事業は開催するということです。

国民文化祭のことが全然新聞にも書かれてない。私たちは今年の8月に内々で情報してもらいましたが、昨年10月に新聞に載ってからこの1年間で準備室を立ち上げて、という形なので市町村が追いついてないものもあります。

ちょっと県にも見切り発車しすぎじゃないか、って話もさせてもらいましたが、県としてやるならば、もう市町村は市町村独自で先に考えていきますということですよ。

○百田委員

美術展覧会の会でも所蔵品とかいろいろ出ていましたので、自分も初めて見るような絵画が野市の図書館にはまだまだいっぱいあるし、有名な画家さんが2人おられて、赤岡小学校にその作品があるとか。いろんなことを文化協会と一緒に考えていただければいいと思います。

○生涯学習課長

本当にたくさんあります。寄付をいただいているものもありますし、すごく著名な方々の作品があって、これを1回出さないのは、もったいないぐらいですよ。

そういう形で事業を膨らましていきたいと思っております。ここにおられる教育委員の皆さんにもご協力いただきたいと思っております。実際、すごく大きな祭典になります。一応、漢詩の関係で、担当の職員を急遽視察に行かしました。驚くぐらいの大きな規模なので、高知県全体で本当にできるのか、というふうには思っています。

石川大会でも「お金を相当入れて」という形なので、高知県でそこまでできるかという話もあります。ちょうど今、岐阜の大会を行っていますけれど、来年度予算としては、委員さんを連れて見に行くという話も予算化をしようと思っております。ですからちょっと時間を空けていただけたらと思います。来年というと、もう7年度はプレなので、もう時間がないって話ですよ。

○教育長

大きいと言っても、前の国体のように民泊受け入れまで考えないといけないレベルですか。

○生涯学習課長

その話は、昨年ありましたけれども、市町村が全部断っていき、高知市に集まりました。例えば「室戸で何かやりたい」と言っても、結局室戸は「できない」と言って手を挙げていない。できるところは中央しか手を挙げていません。

高知県挙げてやるという話なので、「東部で何%と取りなさいとか、西部で何%か取りなさいと、やっぱり無理にでもやらさないかん」と高知県には言ったのですが、高知市と四万十市に大きなホールができたので、その大きなホールがある所だけで開催します。

それと結局、宿泊所がないので、民泊の話が出ました。民泊をやるパワーがこの3年では、無理だということで、小さな町は全部断っていった。結局、香南市もそうです。「国民文化祭」の10月の25日から11月の末までの期間には、カシオゴルフがありますのでホテルがいっぱいです。ですから、うちも漢詩をやるにあたって400人ぐらい来ますが、ホテルを構えられません。その時期にカシオとぶつかるので、カシオを変えてくれということも要求もしています。カシオも県の事業でやっているのです。

本当に難しいところでいろいろなものが動いています。香美市は今、7年の「あんぱん」でいっぱい、いっぱいなので、8年に向けての話はなかなかできない。ただ、こんなこと言ってもしょうがない、もう決まっているので。国として承認もいただいているので。

この期間は、ふれあいセンターはほとんど全部の事業が入っているので、一番のかき入れ時ですけど、市町村でやる事業を止めないといけないぐらいです。

○教育長

どんなになるでしょうね。

○生涯学習課長

うちは粛々と香南の事業を仕上げていきます。実行委員会を立ち上げようと思っているのも、漢詩連盟の高知県の方がすごく前向きで、マッチング終わった後も今までに2回話し合いをして、要項も大体でき上がっています。令和7年の10月ぐらいに要項を皆さんに出して、漢詩を書いてもらうために3,000人ぐらいに出さないといけません。出した上でそれを審査する日にも決まっているので、本当にこの話を先に進めて実行委員会を立ち上げないと、うちも遅れてくるので。

ただ、どの市町村も「国民文化祭」の話はまだ、議会に上がっていない。「決まっていない」ということになっているので。ちょっと、変な状況にはあります。

○教育長

だけど、国の方で確定とならない限り、市の方で先に実行委員会を立てることもできませんね。

○生涯学習課長

そうなんです。 「実行委員会を何のために立ち上げる」という話になるので。「国民文化祭」をやることは決まっているけれど「何をやるか」ということが決まっていないですから架空なんです。

1月に承認をもらうってことなので、12月議会で報告して、1月ぐらいに「実行委員会を立ち上げたい」ということを言おうかなと思っています。

ただ、漢詩連盟の方は12月中に話し合いをしたいと言われているので、内々では、商工の関係と障害者連盟らも入れて、少ない人数で進めます。広げるつもりはあまりなくて、今後、教育委員さんから何名か入ってもらうとか考えていますけれど、また人選はさせてもらいたいと思います。

○亀川委員

漢詩は、具体的にどのようなことをしますか。400人も来て何をしますか。

○生涯学習課長

漢詩は、漢字がいっぱい並んでいて下の句とかあり、それを読み上げます。「詩吟」で声に出して詠います。全国で何千というものが集まって、その中で優勝作品を決めます。高知県の大会ですが、文化庁長官の賞や高知県知事の賞など40ぐらいの賞を行います。それを1人ずつ、全部詠い上げていきます。後ろにこれに合った造形を作りだします。

僕も初めて漢詩の高知県大会に行ったときに、それは素晴らしかった。「吟じさせていただきます」と言って、これを詠み上げていきます。その後ろに背景の絵を出して、読み上げていくのですが、それを聞いてすごく気持ちがいいのですよ。知れば知るほど奥深いことわかります。

それと剣詩舞といって、後ろで舞いをする方もいます。そういうことの大会ですから、表彰される方は皆さん関係者が集まってくるので、400人ぐらい集まるということになります。

漢詩は、四国はすごく有名です。漢詩は愛媛県で始まっていて、全国大会で優勝しているのは愛媛県です。愛媛県の分家を高知県で作って、今、高知県の漢詩連盟の会はすごく多いので、相当人が集まると思います。横浜の大会に先月、担当に行ってもらって、横浜大会の関係者も

高知に来たいということでした。

それから、吟行があります。発表もあるんですよ。漢字の和歌のようなものです。

○森本委員

漢詩をご自分で作られるんですか。そして、発表される方もご自分ですか。

○生涯学習課長

そうです。

その時に、トップの方は自分で詠みあげますけれど、そうでない方は、代わりの方が詠み上げることもあります。そこらのやり方を今後調整し、もうちょっと詳細な資料ができれば皆さんにこのファイルでお渡ししようと思いますけど。

イメージがわかるかなと思いますけど、俳句を詠んでいるみたいなもんです。

○教育長

表現の仕方が違うだけですね。

○生涯学習課長

そうです。漢字がいっぱいあり、フリガナをふっています。

○森本委員

「読み」は日本語読みですね。

○生涯学習課長

そうです。レ点があって返り点がある、それを詠んでいます。漢字はいっぱいありますが、言葉になっています。

男 5 人で行ったのですが、感動して、こんな面白いというか素晴らしいものがあるのだと。高知県の大会もありますので、皆さんに聞いていただければと思います。

○森本委員

この 1 から 5 ないし 6 とかおっしゃっていたほかの事業については、これはすでにある事業を膨らますっていうことですよ。

○生涯学習課長

そうですね。膨らましていきたいと思います。

○森本委員

そのあたりってというのはまだ実行委員会ができてないけれども、もう担当者というかボランティア団体の方もいらっしゃるでしょうけど、そういった方達にもうすでにお話があって、内容も皆さんがそれぞれ考えられているということですね。

○生涯学習課長

そうですね。1 から 5 あります香南市の総合文化祭の各文化団体の長にも 1 年前から何度もお話をさせてもらっています。今まで各地域で開催していたのですが、それを 1 つのエリアの中で、例えば焼き物は各個人でやっているものをまとめて、焼き物の個展みたいな形の大きな祭典をまとめてやろうかなというふうにはお話させてもらい、今は日程をいつにするかという協議をさせてもらっています。

「取蔵展」ですが、学校にも作品がたくさんあります。ただ劣化が激しくて、それをどうやって修復するかという話もあります。ですから、持ち運びをすると崩れてしまうものもあるので、どれを持って行くか一回整理をさせてもらいます。

100 点以上ありますが、図書館では大体 100 点ぐらいしか展示できないので、今、芸術に強い方々、教育長もそうですけれど、集まってきていますので、その方たちにその内容を決めてもらうという形で進めているという状況です。

「伝承文化芸能大会」は基本的に踊りですけど、そこら辺も話をしています。3 時間ぐらいの講演を 1 時間半で切って休みを取りながら、という形で思っております。全部で 10 団体ぐらいです。

○森本委員

ちょっとお聞きしたところ、ちょっと一番危惧するところが、マンパワーといいますが、普段から行われていることなので、その方たちがいつもと同じ規模でされる場合には問題がないと思いますが、それよりもやっぱりちょっと特別なことしようと思つて案はいろいろ出たとしても、例えばその所蔵作品なんかをどこの業者に頼んで運んでもらうかとか、それぞれかなりのマンパワーが必要になってくると思うので、そのあたりの費用とか、費用だけじゃなくて、

どれぐらいの段階で頼んで、この狭い高知県の中で、というところがちょっと心配です。

○生涯学習課長

そうですね。今言われているのは、図書館に基本的にあるものを中心に、各学校を回らせてもらう。それと公共施設ですね。リストが大体でき上がっているので、実際見てもらってどれを抽出するかっていうのは、宅配に頼まないといけけないので。

ただ、書道的ものは職員が持ったとしても大丈夫ですけど、絵画的なものを持ったときに、その劣化があるので、そこは事前に絵を描いている方に見てもらって、移動するか判断することになります。

ここに書かせていただいた「市美術展覧会 50 万円」というのは、通常経費以外の運送代というか搬送する追加の経費です。あとの経費については、香南市展の実行委員会のそもそもの経費があるので、そこで賄っていったりするのですが、追加としてこれぐらいは要るかなと思っています。

本当にマンパワーなので、ご協力をお願いしたいというふうには思っております。

○森本委員

ちょっと実行委員会だけでやるというのは絶対無理ですよ。それぞれの団体が、特別なことだからということで、ボランティアなどをだいぶ早い段階でかき集めていただくとよいと思います。

○生涯学習課長

1 年前ぐらいから準備をして、スケジュールを全部作って、各団体の話を進めていく。かぶさっている事業も大分あるので、この 5 つが限界かなと思うのですが、県に「もっとやって」といわれたらどうしようかと思ったりします。

○教育長

実行委員会は漢詩の中身のことについての単独の実行委員会ですか。

○生涯学習課長

違います。

○教育長

これ全部網羅しての実行委員会ですか。

○生涯学習課長

はい、そうです。ただ漢詩の方に来ていただき、顔合わせをしないと行けないので、漢詩と向き合うのは、私達本部だと思います。

他の部分の文化協会とか、各委員会とか、そういうところに頼んでいくと思うので、図書館の運営委員さんに頼んで、という話になります。

「教育委員会全体で」というふうに頼もうと思ったら、教育委員会の学校教育課が同じその頃に全国大会がなかったですかね。

○教育長

I C T があります。

○生涯学習課長

香美市で I C T の全国大会がちょうど同じ時期にあるので、すごく重なっているのですが、全体でという話は、今のところしていません。

ただ、これとは別に「行幸啓」という天皇陛下を迎え入れるための組織も作らないといけけないのですが、これは総務にお任せしようと思っています。

大体、うちは空港からの通り道なので来られます。それも決まるのはまだ先ですけど、内々の報告があったので、来ると思っています。櫻井つぐみさんと同じように沿道にいっぱい人が来て旗を振っていただきたいのでよろしく願います。

○教育長

はい。また追々、説明事項がこれからまた増えていくでしょう。

そうしましたら、この件についてよろしいですか。

続きまして「その他の件について」、規模適正化のことについての現状の報告ですが、今から説明していく内容については、まだ市民の方に公開できる状況になる前の内容になりますので、ここからの時間は「非公開」という形でさせていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(全員異議なし)

○教育長

秘密会を解きます。
ほかにありませんか。

○教育次長

次回の教育委員会は12月4日水曜日になります。

○教育長

以上で11月の教育委員会を終了したいと思います。ありがとうございました。

閉会 午後0時08分